



ワルシャワは大都市ですが、蝶々やトカゲそして爬虫類などを保護する、多くの鳥獣保護区もあります。その中でも保護されている種は、圧倒的に野鳥が多いのです。また通常野鳥の群れはヴィスワ川の岸辺に集まりますが、文化科学宮殿の頂上にある巣から町を観察するハヤブサの1番いは特例で象徴的です。

### 芸術的なプラガ地区

ヴィスワ川の東河岸にあるプラガ地区は数百年間独立していましたが、18世紀末にはワルシャワに正式に合併されました。長年二流地区とされていたこの地区は戦争中に破壊を受けず、現在は芸術家たちに愛されている多くのアトリエや画廊、そして前衛劇場などの集まった、非常に興味深い場所になっています。また流行のクラブなどがこの特殊な雰囲気を作り上げ、元産業関連の建物は、文化センターや映画館そしてギャラリーやパブとして利用されています。その一方昔ながらの街並みの古い街灯や、戦前の石畳の道路や、珍しいルジツキ市場も見学

できます。そしてこの地区には子供たちが特に喜ぶアトラクションの動物園があります。

### 現代的なワルシャワ

ワルシャワは非常にダイナミックに発展している都市です。日々新築のホテルやアパートやビルが増えているのが目に見えます。雨上がりにぐんぐんと成長するキノコのように、近代的な住宅団地やショッピング・センターが建設されています。都市の変化は著しいのです！ワルシャワは長い歴史を持つ都市であると同時に、高層ビルや、ポーランドと世界でも有名な建築家によって設計された独創的な建物が示す通り、未来に向かっての都市なのです。

### 文化的なワルシャワ

ワルシャワは国の行政及び経済の中心ですが、それだけではありません。ワルシャワは、あらゆる趣味の人々に、

その各人に合った財力で楽しめる文化と娯楽を提供する賑やかな都市です。この地には、ポーランドと世界の古典美術(ワルシャワ国立博物館・王宮・ヴィラヌフ宮殿・ワジェンキ公園の水上宮殿など)や、現代美術(ザヘンタ美術館・ウヤズドフスキ宮殿の現代芸術センターなど)の豊富なコレクションが収集されています。その他に国際ポスター・ビエンナーレや国際演劇祭などの、世界でも有名な文化イベントも定期的に催されています。ワルシャワを訪れるお客様には、数々のギャラリー・劇場・映画館・展示会や演劇祭をお楽しみいただけます。

またワルシャワは音楽の都です。クラシックのお好きな方は、まず国立オペラ劇場へどうぞ。他にも国立ワルシャワ室内歌劇場・国立フィルハーモニー・ワルシャワ国民劇場やミュージカル劇場(ローマとブッフオ)が音楽愛好家の皆様をご満悦させることでしょう。さらにフレデリック・ショパン国際ピアノ・コンクール、「ワルシャワの秋」国際現代音楽フェスティバル、スタニスワフ・モニュシコ国際ヴォーカル・コンクール、モーツァルト・フェスティバル、ベートーベン・イースター・フェスティバルや古代音楽フェスティバルなどの世界規模の音楽イベントも開催されています。

またワルシャワには、ジャズ愛好家と専門家にも喜ばれるアトラクションが非常に多く、その中にはJVCジャズ・フェスティバルやWarsaw Summer Jazz Days、そして野外コンサート・シリーズの「旧市街でのジャズ」などがあります。

### ワルシャワ観光情報

tel. +48 22 94 31,  
+48 22 474 11 42  
e-mail: info@warsawtour.pl

発行元:  
Stoleczne Biuro Turystyki

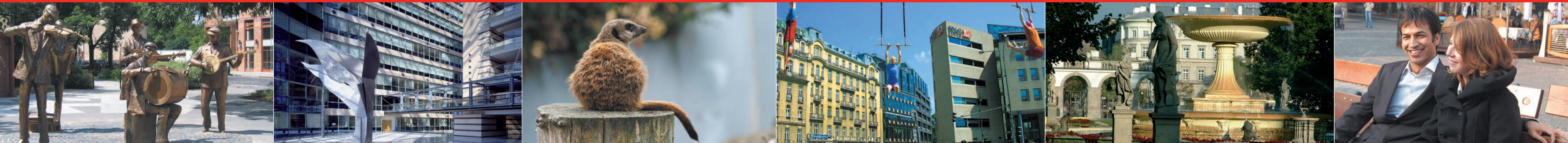
写真: Stoleczne Biuro Turystyki, A. Czarnecka, P. Multan, Muzeum Powstania Warszawskiego, A. Książek, W. Krynski, K. Naperty, T. Nowak, W. Panów, Z. Panów, POT, F. Claus, A. Witkowska.

第一版、ワルシャワ2008年

## ワルシャワに恋して



www.warsawtour.pl







## ユネスコに登録された旧市街

ワルシャワの旧市街は、13世紀に築かれた最古の地区であり、首都の中心部にある史跡というだけでなく、文化交流の場にもなっています。旧市街と新市街の歴史ある2つの広場は、夏場には評判の高いジャズコンサートや多くの演奏会や演劇の舞台になり、また野外画廊にもなります。ヴィスワ川の岸辺まで下りていくロマンチックな路地には音楽が溢れ、昔の商人の住居を改造した数え切れないほどのレストランとカフェは深夜まで賑わっています。旧市街では、14世紀の聖ヤン大聖堂や聖マルチン教会と聖母教会など、ワルシャワ最古の教会にも出会えます。

第二次世界大戦中に完全に破壊された旧市街は、非常に忠実に復元されたため、ユネスコの世界文化遺産リストに登録されました。

## 数百年の歴史を歩んで・・・

旧市街からは、その最も代表的な道である「王の道」に

沿った散策をお勧めします。この旧目抜き通りは、王宮からワジェンキ公園の水上宮殿、そしてヴィラヌフ宮殿へと導く歴史的なルートになっています。数百年の歴史によって生まれたこの道は、多数の教会や貴族の邸宅が醸し出す華やかな雰囲気に溢れ、歩行者を魅了しています。この「王の道」の散策で、素晴らしい街の歴史を発見しましょう。

## ショパンのワルシャワ

フレデリック・ショパンは最も著名なワルシャワの出身者です。彼は人生の最初の20年間をここで過ごしました。この地で音楽を学び、ワルシャワのサロンで礼儀作法を身に付け、最初のコンサートでピアノを演奏したのです。このようなことからショパンの死後彼の心臓は、ワルシャワの聖十字架教会に安置されました。

フレデリック・ショパン博物館では、ショパンに関する記念の品々の、世界でも最大のコレクションを見ることができます。(但し2008年5月から2009年12月まで、博物館は内装工事のため閉館する予定です。)この地の多くの

場所がショパンに関係しています。特に注目したいのは、クラコフスキェ・プシエドミェシュチュエ通りにあるショパンのサロンと、毎年5月から9月にかけての毎週日曜日の定時に野外ショパン・コンサートが催される、ワジェンキ公園にあるショパン像です。

## 戦うワルシャワ

ヨーロッパのこの地域は歴史に翻弄され、痛ましいほどに傷付けられてきましたが、幾度もワルシャワは“征服できない都市”として有名になりました。その英雄的歴史の例を、このワルシャワで多く見つけることができます。

その建築様式からもワルシャワの最も興味深い史跡であるツィタデラ大監獄要塞跡は、19世紀を代表するポーランドで最も良く保存されている防備建築の複合体として知られています。兵舎以外にツィタデラの10号棟には、ロムアルト・トラウグットやユゼフ・ピウスツキなど、政治犯を収容するための中央拘置所が設けられていました。

戦うワルシャワの例を挙げるなら、第二次世界大戦中の悲惨な出来事を忘れてはなりません。ワルシャワ蜂起60

周年を機に開館されたワルシャワ蜂起博物館は、最も多くの観客が訪問する場所の一つです。現代的な展示方法を用いて、勇敢な戦いだけではなく、蜂起軍の日常生活も紹介しています。この博物館は、ポーランドとその首都ワルシャワの独立のために戦い、命を失った大勢のワルシャワ市民に対する敬意の証なのです。旧市街を訪れる時には少年蜂起兵の像もぜひご覧ください。

## ユダイカ

ユダヤ人は、戦前のワルシャワ市民の30%を占めていました。またポーランドは、ニューヨーク・モスクワ・シカゴに続きヨーロッパでは2位、世界では4位と、ユダヤ人の多い国でした。当時のポーランドでは、数百軒のユダヤ人学校と図書館が運営され、130種類のユダヤ新聞が発行されていました。その他にユダヤ劇場やスポーツ・クラブも活躍していました。ワルシャワにはノーベル作家のアイザック・B・シンガーや、ピアニストと作曲家のウワディスワフ・シュピルマンと優秀な女優であったイダ・カミニスカも住んでいました。ですからユダヤ文化との出会いの場がワルシ

ャワにこれほど多くあったことも不思議ではないのです。ゾジク夫妻のシナゴグ、絵のように美しいブルジュナ通り、ユダヤ人墓地やユダヤ劇場は、ワルシャワのユダイカの跡を辿る散策の出発地点です。他にもウムシュラークプラッツやワルシャワ・ゲットーの英雄記念碑、そしてシェンナ通り沿いのゲットーの外壁跡など、ユダヤ人に関わる悲劇の歴史を記念する場所も数多くあります。

## 『赤い』首都

ワルシャワの中心に聳える文化科学宮殿は、最も有名な建物の一つです。完成した1955年から現在まで、ポーランドで1番高い234、5メートルの高さを誇り、観光客だけでなく市民にとっても目印となる建物です。しかし未だに絶えない論議の対象になっています。過去の名残をお捜しなら、世界でもユニークな社会主義リアリズムの建築様式を表した、都市計画の壮大な代表地区である、M DMと名付けられたマルシャウコフスカ住宅団地をご覧ください。特徴のある装飾的な燭台と労働者たちを表現し

たレリーフを誇り、政治的示威運動の場として計画された憲法広場は、現在は当初の目的とは異なり、ワルシャワの日常生活が繰り上げられる最も賑やかな場所の一つになっています。ポレ・モコトフスキェ公園の隣にあるソ連軍人墓地の壮大な記念碑の周辺も、現在は市民の散策の場となっています。

## 緑の都市

ワルシャワに最も“似合う”色は緑である、という意見に大勢が同意します。公園や庭園の緑地は、ワルシャワのほぼ4分の1を占めています。サスキ公園を始め、ワジェンキ公園やヴィラヌフ宮殿という、王族や貴族の邸宅を取り囲む歴史的な公園以外にも、ワルシャワ大学の中央図書館の屋根に造られた庭園のように、現代的な企画も多く見られます。ワルシャワには十数ヶ所の自然保護区が設けられました。このようにワルシャワは市内まで広がる森林を誇る、世界でも非常に珍しい都市なのです。カンピノス国立公園は、世界生物園保護区域として認められた、世界唯一の公園です。

